



# 学校通信

No. 14 令和2年11月16日(月)

篠栗北学園 篠栗町立篠栗北中学校 校長 橋口 公一

創 練 自 校  
造 磨 立 訓



学校ホームページ

## 1 篠栗北学園幼小中一貫教育の推進 幼小中合同研修会 北勢門小にて算数の授業公開！

11月9日(月)に、第1回幼小中合同研修会を行いました。例年は8回程度実施していますが、今年度は、新型コロナの影響でようやく第1回の開催ができました。当日は、6年2組担任の武良俊克先生の算数の授業を、6教室に分かれてモニターで参観し、協議会を行いました。「星形のような複雑な図形の拡大図をプログラミングで手順よくつくれるか」という「問い」のもと、一人1台のタブレットを活用して授業が進められました。その後、福岡教育大学大学院教育学研究科の森 保之教授(篠栗北学園運営協議会員)から「幼小中一貫教育における連携の在り方」についての御講話をいただきました。小学校での学びを中学校につなげていけるよう、今後も研修を重ねていきたいと思っております。



【6年2組の授業の様子】

## 2 自ら「問い」をもって学び続け、学びを地域に発信する生徒の育成

### 自ら「問い」をもつ授業づくり

10月～11月までの間に、全教員が、自ら「問い」をもって学ぶ授業の研修を行っています。生徒が、与えられた課題をするのではなく、興味・関心をもって取り組みたいと思う課題を設定したり、授業の過程で生まれた新たな問いを追究したりする授業です。本年度は、まず、2の1で、理科「生命を維持するはたらき」の授業が行われました。生徒は、「私たちの体はどのように生きているのか」目が見えるしくみや心臓が勝手に動いている理由など様々な「問い」をもって授業に臨みました。そして、人体解説アプリを起動させ、「各臓器はどのように関連しているのか」と「問い」をもち、各臓器がある必然性を探究していました。このような各教科での「問い」や探究心が「88タイム」につながり、しいては、自分の生き方にもつながっていくと思っています。



【2年1組の授業の様子】

## 3 学校・地域・家庭が一体となった取組の充実

### 家庭教育委員会主催 家庭教育講演会

11月6日(金)に家庭教育委員会主催の教育講演会が行われました。まず、原田PTA会長から、「優しい気持ち～中学生から学んだ本質に気付くことの大切さ～」と題し、講話をいただきました。運動会まで時間が無い中、学級対抗の大縄跳びの競技、勝つことを選ぶのか、それとも学級全員で跳ぶことを選ぶのか、葛藤の末、子供たちは、特別支援学級の生徒も一緒に、全員で跳ぶことを選びました。学級の誰一人欠けてはいけません。全員で乗り越え、全員で喜び感動する。大切なことは何か。考えさせられるお話でした。

次に、私から、『「88タイム」が教えてくれたこと』と題し、話をしました。本年度初めて行った「88タイム」を通して「熱中・つながり・絵がかり」の3つが成果として見えてきました。「熱中」：生徒が夢中になる活動ができること。「つながり」：地域の方(大人)と関わったり、大人の力を借りたりしながら探究活動を進めること。「絵がかり」：地域・保護者が子供の活動を支えること。子供は集団の中で、人と関わりながら成長します。お子様が人とのような関わりをもって成長していくのか、保護者の方にもぜひ、見守り続けていただきたいと思っております。家庭教育委員会の皆様、準備、進行等ありがとうございました。



【中学生の力について話す  
原田PTA会長】

「熱中」：生徒が夢中になる活動ができること。「つながり」：地域の方(大人)と関わったり、大人の力を借りたりしながら探究活動を進めること。「絵がかり」：地域・保護者が子供の活動を支えること。子供は集団の中で、人と関わりながら成長します。お子様が人とのような関わりをもって成長していくのか、保護者の方にもぜひ、見守り続けていただきたいと思っております。家庭教育委員会の皆様、準備、進行等ありがとうございました。

### 今後の予定

- 11月27日(金) 講話「篠栗町の森の歴史と今」(1年生)
- 11月28日(土) 2050年未来予想図WS(1年生有志・PTA本会、保体厚生委員有志)
- 11月30日(月)～12月7日(月) 3年生三者面談, 1, 2年生二者面談